

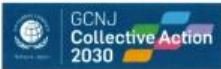
報道関係者各位

2025年2月20日(木)
株式会社明電舎

「GCNJ サミット 2025 ～Social Change by Equity～」にて ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン (DEI) の 課題解決に向けた自社アクションを宣言

株式会社明電舎（代表取締役 執行役員社長：井上 晃夫/東京都品川区、以下明電舎）は、1月28日に一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（所在地：東京都渋谷区、代表理事：有馬利男、以下 GCNJ）が開催した「GCNJ サミット 2025 ～Social Change by Equity～」(以下 GCNJ サミット)において、「GCNJ コレクティブ・アクション 2030 宣言書」に署名しました。

当サミットは、国連グローバル・コンパクトのカントリー・ネットワークである GCNJ の中期計画「GCNJ コレクティブ・アクション 2030」の活動の一環として実施されたものです。
明電舎は、日本の働き方に関する課題「働く場所・時間に制約のある社員が公平に力を発揮できる環境を整える」、「性別を問わず、誰もが当事者として家事・育児・介護に参画する環境を整える」の解決に賛同する 17 社のうちの 1 社であり、代表として社長・井上が出席。ラウンドテーブルでは主に育児・介護に対する取組みについて紹介し、賛同署名式では以下のとおり宣言しました。



GCNJ コレクティブ・アクション 2030
宣言書

当社は、一人ひとりの強みや個性が最大限発揮され、誰もが Well-being を実感できる社会にすることを目指し、志を共にするグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン会員企業と協働し、下記の課題を解決することに賛同します。

- I 働く場所・時間に制約のある社員が公平に力を発揮できる環境を整える
- II 性別を問わず、誰もが当事者として家事・育児・介護に参画する環境を整える

上記の課題を解決するために、当社は以下のアクションを実行することを宣言します。

- I 全ての従業員が最大限の力を発揮できるよう、働く場所(地域限定・テレワーク等)、働く時間(時差出勤・フレックスタイム制等)の柔軟な勤務形態を選択できる環境を拡充します。
- II 家事・育児・介護に関する情報提供や従業員同士の対話を通じ、当事者の参画する意識と周囲の従業員の支援する意識を醸成します。

2025年1月28日

株式会社明電舎
代表取締役 執行役員社長
井上 晃夫



GCNJ サミット 2025



代表取締役 執行役員社長：井上 晃夫

明電舎は近年、DEIの推進において、女性・男性問わず育児休職しやすい職場づくりに注力しています。休職経験者の気づきの声や職場のサポート体制の好事例を社内で共有するといった施策により、従業員の意識向上が見られるようになりました。引き続き職場の理解促進に努め、男性の育児休職100%を目指します。このほか、介護休職制度の理解促進、障がい者雇用の拡大や、グローバル人材の活躍推進等、多岐にわたる取組みを展開しています。

今後も明電舎は、DEIに「D（誰もが）、E（遠慮しないさせない環境のもと）、I（イキイキ）」という意味を重ね、個々の力を発揮し、活躍する組織作りと風土醸成に努めてまいります。

■ 明電舎のDEIの取組みはこちら

<https://meidensha.disclosure.site/ja/themes/147>

以上